

2018 年度 年報



玉昌会グループ

医療法人玉昌会／株式会社JOY／社会福祉法人幸友会

玉昌会グループ 基本理念

いつまでも健やかに・・・
——私たちの願いです。

医療・介護サービス行動指針

低

すべてに謙虚な
気持ちで接する

賞

お互いを思いやり
敬意を払う

感

すべてに
感謝する

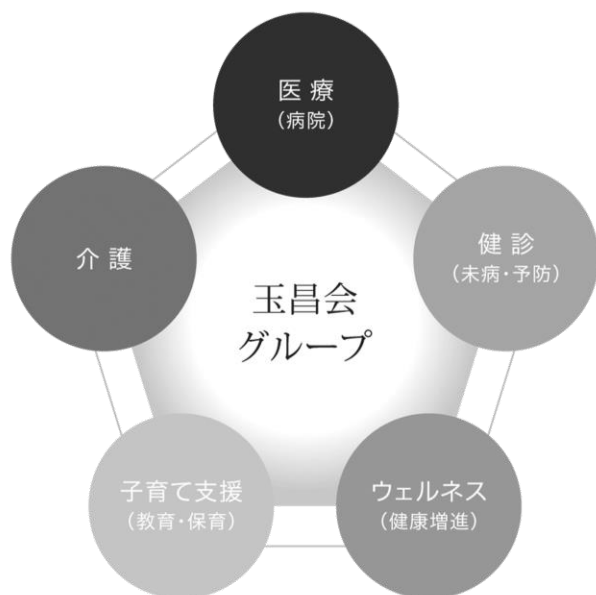
微

微笑みを添えて
態度で示す

玉昌会グループ ビジョン

玉昌会グループは、健康・医療・福祉・生活の総合ビジョンを掲げ、鹿児島市・始良市に密着した、きめ細やかな医療環境づくりをめざしています。

また、医療をとりまく環境や制度の変化、さらにますます進む高齢化に向けて、より時代に即した医療環境の整備が求められています。こうした時代のニーズに応えるべく総合的な視点で、未来へ向けた新しい医療環境を構築していきます。



玉昌会グループ年報

2018年4月1日～2019年3月31日

【医療法人玉昌会】

高 田 病 院
加 治 木 温 泉 病 院
在宅サービス事業部

【株式会社JOY】

【社会福祉法人幸友会】



◆日本格付研究所（JCR）

医療法人玉昌会 長期優先債務「BBB-」格付け取得更新

◆財団法人 日本医療機能評価機構

高田病院 機能種別版評価項目3rdG: Ver 2.0 認定

加治木温泉病院 // Ver 1.1 認定

加治木温泉病院 リハビリテーション付加機能 Ver 3.0 認定

◆一般社団法人 日本慢性期医療協会

慢性期医療認定病院 高田病院、加治木温泉病院

◆エコアクション21（厚労省）

認証事業所 高田病院、加治木温泉病院

◆日本政策投資銀行（DBJ）

医療法人玉昌会 ビジヨナリーホスピタル認定

// 環境格付付与

// 健康格付付与

// BCM格付付与

◆健康経営優良法人認定制度（経済産業省）

医療法人玉昌会 健康経営優良法人2019（ホワイト500）認定

目 次

グループビジョン・法人理念		地域リハビリテーション広域支援センター事業	
巻頭のことば・・・・・・・・・・	1	学術活動 院内研修	
玉昌会グループ代表		実習受入れ	
医療法人玉昌会 鹿児島地区担当理事			
株式会社JOY 代表取締役		鰺坂クリニック・・・・・・・・・・	105
【医療法人玉昌会】		在宅サービス事業部・・・・・・・・・・	111
組織図・・・・・・・・・・	9	運営方針	
外部役員・嘱託・講師・・・・・・・・	10	概 要	
所属学会・団体・・・・・・・・・・	12	部門別活動報告	
トピックス・・・・・・・・・・	13	事業部内研修	
2018 年度 学会発表・・・・・・・・	17	トピックス	
法人事務局・・・・・・・・・・	19	【株式会社 JOY】	
組織図		事業内容・経営理念・・・・・・・・	129
人事		行動指針・・・・・・・・・・	130
式典		組織図・・・・・・・・・・	131
職員研修		各事業所の概要・・・・・・・・	132
環境経営マネジメント		トピックス・・・・・・・・・・	133
福利厚生		【社会福祉法人 幸友会】	
高田病院・・・・・・・・・・	29	理念・保育目標・管理者より・・	137
運営方針		組織図・沿革・・・・・・・・	138
沿 革		概要・かずみスペシャル保育・・	139
概 要		職員研修・・・・・・・・・・	140
組織図		主な年間行事・・・・・・・・	141
統 計			
部門別活動報告			
各種委員会			
学術活動 院内研修			
実習受入れ			
加治木温泉病院・・・・・・・・	61		
運営方針			
沿 革			
概 要			
組織図			
統 計			
部門別活動報告			
各種委員会			

2018 年度玉昌会グループ年報の発刊にあたって

玉昌会グループ代表 高田 昌実
医療法人玉昌会 理事長・加治木温泉病院 院長
社会福祉法人幸友会 理事長



2018 年度も皆様方には法人グループ運営等に関しまして、大変お世話になり誠にありがとうございます。2018 年度のグループ年報が完成致しました。

2019 年 4 月 1 日に政府は「平成」に代わる新元号が「令和」と決定し、皇太子さまが新天皇に即位された 5 月 1 日に施行されました。新元号「令和」の由来は、「万葉集」の梅花の歌が出典で、安部首相は、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、決定した」と述べられており、新しい新時代を迎えました。

2018 年度は、当法人でも創業 60 周年を迎えた記念すべき年に当たり、多くの記念事業がスタートした年でした。又医療・介護業界では 2025 年を見据えた大規模な制度改定の年でもあり、診療報酬改定・介護報酬改定・障害福祉サービス等報酬改定に加えて、第 7 次医療計画、第 7 期介護保険事業計画もスタートしました。

当グループも、2025 年を見据えて急性期医療機関や在宅診療機関との連携のあり方、医療機関から在宅への円滑な移行支援に係るサービス提供体制作り、更に医療と介護による継続的なリハビリテーションの提供の在り方等について多くの取り組みを始めました。主な取り組みでは、未病・予防への取り組みとして巡回型健康診断事業にて 25 年間の運営実績がある「鰺坂クリニック」を傘下に収め、2018 年 4 月 1 日より「医療法人玉昌会 鰺坂クリニック」として巡回型健康診断事業所を開設致しました。

加治木温泉病院は 2018 年 5 月より県知事から「救急告示病院」の認定を受け、今後も引き続き全職員と共に地域救急医療に貢献しています。

2018 年 12 月 1 日より加治木温泉病院に 57 床の介護施設「加治木温泉病院 介護医療院」を新しく開設致しました。介護医療院は 2018 年 4 月に創設された介護保険適用施設で「医療の必要な要介護者の療養・生活支援施設」として、慢性期の医療・介護サービスの必要な方々の様々な生活スタイルを支える施設です。

今回の介護医療院の開設により、「個人の様々な住まいスタイルを医療が支える新たな介護施設」として、「住居・療養環境の充実で個人が望む多様な生活スタイルの在宅支援サービスの充実」並びに「利用者の尊厳の保持」「自立支援の強化」を図り、更に社会と繋がる「開かれた多機能連携の交流施設」の役割も担いながら、プライバシーを尊重した医療ニーズの高い利用者さま、看取りやターミナル期の利用者さまにも、安心して治療や療養生活に専念

していただく生活環境が整い、当院は地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟・医療療養病棟・介護医療院の在宅医療・介護機能を持つケアミックス病院に医療機能を向上させました。

2019年2月には、経済産業省と日本健康会議が実施する「健康経営優良法人2019（ホワイト500）」に認定されました。玉昌会グループは、法人理念として「いつまでも健やかに……私たちの願いです。」を掲げ、職員の健康維持こそが経営の根幹理念と位置付けし、いきいきと安全で安心して働ける職場環境をつくるという基本姿勢の基に健康経営を推進する「健康宣言」を発表し、健康・医療・福祉・社会生活の総合サポート企業として、地域社会に密着したきめ細やかな社会環境作りと、地域包括ケアシステムをベースとするプラットフォームの「ヒューマンライフライン」を構築し、全世代に対応した健康・医療介護・福祉サービスを含めた総合生活支援サービスを提供していく法人を目指します。

2019年2月27日には、60周年記念事業の一環である高田病院新築移転工事の起工式をキラメキテラスで執り行い、2020年10月の完成を目指しております。新病院のコンセプトは、「再入院を極力させない為の入院治療」を方針とした新しい概念をもとに、入院治療から在宅・医療・介護サービスまで切れ目なく提供できる回復期・慢性期機能病院として、入院中の皆様に早期に自立した社会生活に戻って頂く為の治療期間（50日～100日程度）を、有効に有意義に、そして快適に過ごして頂く事を目標に、チーム医療介護による新病院の総合的医療・介護サービス機能の向上を目指して検討して参りました。加えて、入院中の皆様を支えるご家族が気楽に訪問しやすい環境がつかれないか。病院スタッフへの負担を少なくし、いかにしたら更に長く皆様に寄り添えるか。その様な事を考えながら新病院の計画を進めてまいり多くの取り組みを行いました。

新病院での3つの代表的な取り組みとしては、

- 1) “縁側廊下”のある新しい概念の病棟スタイル病棟中央部分に大きな窓に面した“縁側廊下”と名付けた空間を設けました。

患者様、ご家族にとって、単なる廊下ではなく、縁側のような“ふれあいの場”となり、憩いの空間としての機能を持っています。

- 2) スタッフのゼロ動線による“近くにある医療サービス”病棟

チーム医療・介護病棟スタッフが協働するスタッフステーションを病棟の中心に設け、患者様が安心して過ごせる“看守り”病棟となります。

- 3) 世代を超えていきいきと生涯かがやく街“キラメキテラス”との共存

南国殖産、昭和会、ロックスの3社と共に、30年後の鹿児島へのプレゼントのコンセプトで“キラメキテラス”の複合機能を提供できる街づくりを進めてきました。街には薬局、コンビニエンスストアやスーパーマーケットといった生活の為の便利施設からクオリティの高いシェラトンホテル、最新鋭の多機能スポーツ施設があり、これらの施設が歩行者専用のデッキテラスでつながる事で、だれでも安心して利用して頂ける便利シティになりますが、玉昌会グループは、「キラメキテラス」という街づくりへの参画を通し

て、“ヒューマンライフライン”（≡地域包括ケアを含む、多世代が支えあう社会の仕組みのプラットフォーム）の構築を進め、“30年後の鹿児島へのプレゼント”を鹿児島の皆様にお届けしたいと考えております。

数年後の近未来社会では、人々はビッグデータを踏まえた AI やロボットの活用で人間が行っていた作業や調整等の煩雑な作業から解放され、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる（Society 5.0）の時代を迎えます。全ての社会生活に必要なサービスが ICT・IoT で繋がり、医療介護福祉サービスもその中に存在し、医療・介護業界は、変革期に当たる 2025 年に向けて医療機能の分化や質の向上がさらに進み、その機能毎の連携も可視化され、いつでも誰でも必要とする機能をリアルタイムに活用できる時代を迎えます。

これからの社会は、2025 年のその先の 2035 年、2045 年までを見据えた、地域包括ケアシステムを基盤とした地域共生社会を構築するためのビジョンが必要になってきます。このビジョンを実現するためには、切れ目のない医療介護福祉サービス提供体制の早期の構築が重要で、特にチーム医療介護における医療と介護・福祉サービスの効率化や、在宅医療介護サービスの充実、多様な外来機能の分化、並びに ICT による医療介護サービスの連携における医療介護スタッフ業務のサポート体制による効率化を進める必要もあり、サービス提供集団は時代に合った変化に合わせた積極的な変化・進化が求められます。

私達の目標は鹿児島地区のキラメキテラス事業では、今給黎総合病院と連携し医療機能が充実した未来都市モデルの構築を行い、また始良地区のジョイタウン事業では、グループ全体でコンパクトシティ始良への地域貢献に取り組むことです。

その為に地域包括ケアシステムをベースとした地域共生社会の実現の為にヒューマンライフラインを構築し、全世代に対応した医療・介護・福祉を含めた生活支援サービスを提供していく集団を目指し、地域と共に成長していきたいと考えています。

今後も法人理念の「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです。」の基に、行動指針の低賞感微を念頭に置き、両地区における計画を予定通りに実行する為にスケジュールを確認し、2025 年に向けて行動します。

何卒皆様方には今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2018 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて

医療法人玉昌会 鹿児島地区担当理事 萩原 隆二
高田病院 院長



2018 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて、一言御挨拶申し上げます。

まずは、2018 年度も地域の医療機関や介護・福祉分野の方々、更には地域の皆様方から、高田病院ならびに鹿児島地区の在宅サービス事業部の各事業所の運営に対しまして、一方ならぬ温かいご支援を賜りまして、この場をお借りして、心より厚く御礼申し上げます。

この年報には、玉昌会グループの 2018 年度の実績をはじめ、各部署の活動記録等が網羅されており、現在の玉昌会グループの姿を関係者の皆様方にも知って頂ける、良き資料となっていると思っておりますので、ぜひ皆様方でご一読頂ければ幸いです。

2018 年度は、4 月に診療報酬・介護報酬の同時改定があり、いつにも増して病院運営・経営におきまして、厳しい環境の中ではございましたが、2018 年度高田病院は、2021 年に予定しております「キラメキテラス」内への高田病院の新築移転に向けて、準備を進めてまいりました。

そのような厳しい環境の中、「急性期病院の受け皿病院となり、在宅医療・介護・福祉への橋渡し機能」と言った高田病院の機能（ベクトル）を果たすべく、職員一丸となって、今回の診療報酬改定により、更にハードルが高くなった基準の、地域包括ケア入院医療管理料 1 と回復期リハビリテーション病棟入院料 1 を取得し、現在も基準を満たす病棟運営を続けております。

高田病院の 2018 年度の大きな出来事としては、7 月 25 日～26 日の両日には、日本病院機能評価機構の審査（病院機能評価 3rdG:Ver. 2.0）（主たる機能：慢性期病院、副機能：リハビリテーション病院）を受審し、再認定を頂きました。また、10 月 11 日～12 日の両日、鹿児島市で開催された、第 26 回日本慢性期医療学会 in 鹿児島におきましては、15 題もの演題を発表させて頂きました。

更には、病院・薬局受付やリハビリテーションの実施時に、以前より導入しておりました、感音性難聴者用の日本ユニバーサル・サウンドデザイン社製のスピーカー「コミュニケーション」の利用状況等を視察される為に、2019 年 2 月 2 日に三笠宮瑤子女王殿下が御視察に来院され、緊張した一日を過ごさせて頂き、良き経験にもなりました。新築関係では、2019 年 2 月 27 日

に高田病院新築工事 起工式を執り行い、いよいよ新築に向け事業がスタート致しました。

また 2018 年度も社会貢献の一環として、松原小学校の校医活動、甲東中学校・職場体験学習、鹿児島女子高等学校・職場体験学習、伊敷中学校・職場体験学習等のボランティアの受け入れや、鹿児島大学医学部医学科よりの学生実習の受け入れや各職種の実習受け入れも行い、高田病院ならびに在宅サービス事業所の全職員が一丸となって、対応をさせて頂きました。

また、2018 年度も第 18 回（2018 年 9 月）・第 19 回（2019 年 3 月）の 2 回、鹿児島地区地域連携 Net Works 情報交換会を開催させて頂きましたところ、各回ともに多数の連携先の皆様に御参加を頂き、患者さま・利用者さまに、より良い医療・介護・福祉環境を提供出来るよう、他病院・施設と連携を図る為の、有意義な情報交換会の場とあいなりました。

来年度以降も「地域包括ケアシステム」の構築の為に、「医療人の感性」に満ちた医療・介護・福祉活動を提供させて頂く事により、多くの急性期・一般病医院・地域の皆様方から御期待されている、「回復期・慢性期医療」としての「高田病院の機能」並びに「在宅サービス事業部の機能」の更なる充実を、全職員で目指して参る所存でございます。

2019 年度も、関係者各位の高田病院・鹿児島地区在宅サービス事業部の各事業所に対する、これまで以上の御助言・御協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げまして、御挨拶とさせて頂きます。

2018 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて

株式会社JOY 代表取締役 高田 和美



2018 年玉昌会グループ年報の発刊に寄せ、一言御礼とご挨拶申し上げます。

2018 年度も関係各位、皆様方には大変お世話になり誠にありがとうございました。

2018 年度は、持続可能なウェルネス環境の創出のテーマに沿って、各分野、さらに活動を深め展開した一年でした。

ウェルネスとは、単に健康を意味するだけでなく、身体的健康、精神的健康、社会的健康を基盤に自らの人生に希望を持ち、デザインしていく生き方、目指す生き方を提唱しています。

健康寿命延伸をテーマに開設されたウェルネス総合施設ウェルビークラブも、ご利用される皆様のおかげをもちまして 2 年目に入りました。

有酸素運動は生活習慣病改善、予防の第一歩と、運動の重要性が広がりを見せています。

当クラブにおきましても、ご利用される皆様方の日常に運動習慣が定着され、ご自身の健康に関心が高まり、自立したライフスタイルの実現へと、嬉しい光景が多く見受けられます。

また、運動プログラムに限らず、文化、芸術の分野においても様々な企画を発信した一年でした。

2018 年現在の日本の 100 歳人口は約 70000 人。88 パーセントは女性です。1963 年頃から調査が始まりましたが、その時代はわずか 153 人でした。

国立社会保障人口問題研究所によりますと、2050 年には、100 歳以上が 68 万 3000 人に増加傾向になるとの見通し。

日本人口は 9708 万人と推定され、142 人に 1 人が 100 歳を超える予想です。人生 100 年時代の到来。元気に活動するアクティブシニアが現代社会の課題を解決する一役を担うのではないのでしょうか。

運動時間が多いほど各人が自己管理する行動を意識し、文化芸術鑑賞、読書、など知的な趣味は認知機能保持に良い影響を与えられます。また、人と関わる機会や社会参加が増えると幸福度も上昇傾向にあるようです。

また一方では、永遠に健康な状態でいられるのも限りがあります。

たとえ病を患ったとしても、治療に専念できる安定した環境があり、たとえ認知症を患ったとしても、安心して地域で暮らせる関係性が構築され、お互いを支え合うコミュニティが形成される。

そのような社会環境が、持続可能なウェルネス環境の一つの姿でもあります。

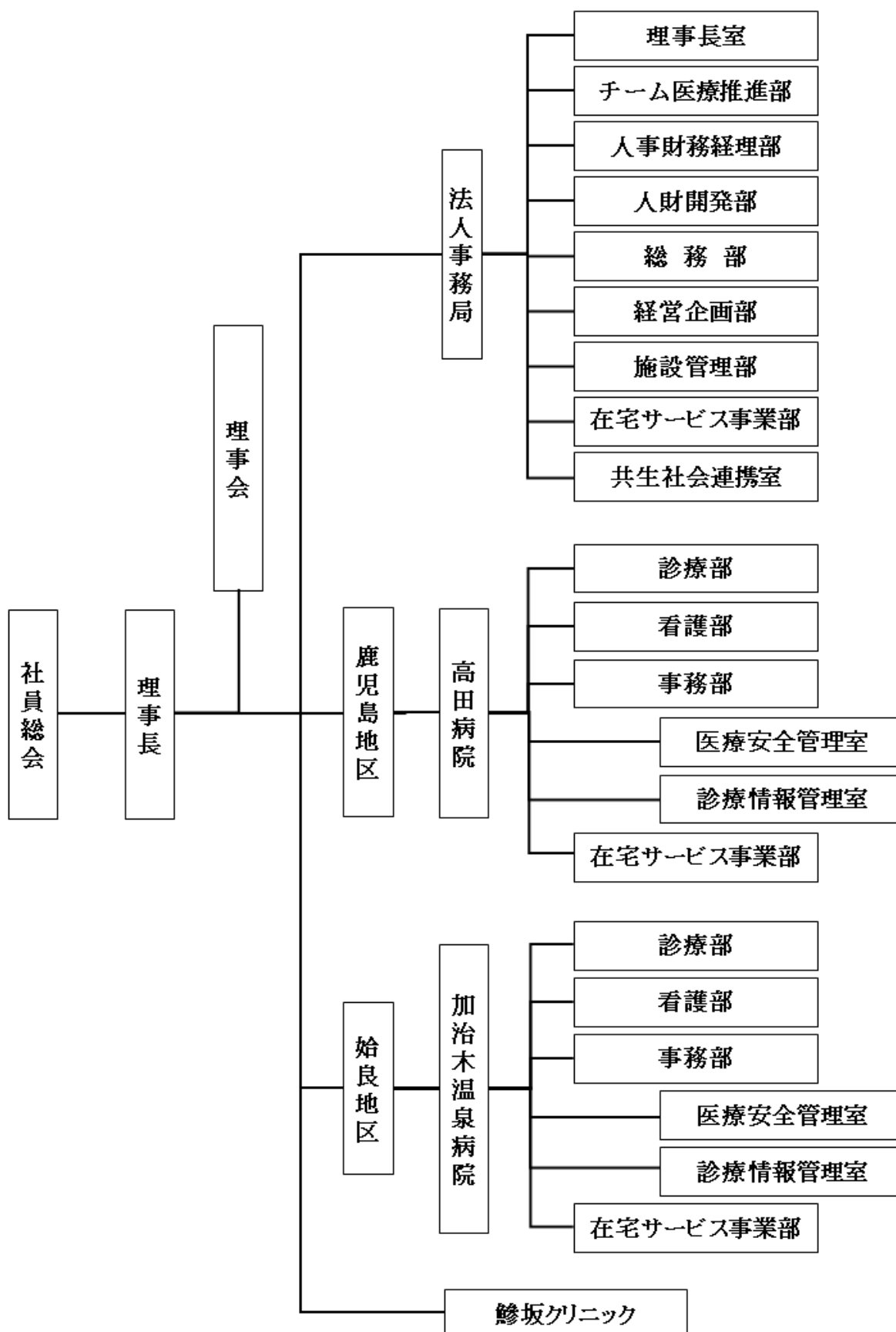
人生 100 年時代において、誰もが暮らしやすく、希望が持てる社会であるためにウェルネスを軸とし、これからも様々な発信を続けて参ります。

弊社理念のもと、社会に喜ばれる法人として、スタッフ一丸となり精進に努め、邁進していきます事をお誓い申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

医療法人 玉昌会

医療法人 玉昌会 組織図

2019 年 4 月 1 日現在



外部役員・嘱託・講師（2018 年度）

関連機関名	役職	担当者
日本医療経営実践協会	九州支部理事 南九州支局長	高田 昌実
NPO法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード	鹿児島支部長	高田 昌実
始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議	委 員	高田 昌実
社会福祉法人 高齢者介護予防協会かごしま	理事長	萩原 隆二
鹿児島県透析医会	副会長	萩原 隆二
鹿児島県医療法人協会	理 事	萩原 隆二
鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター	理 事	萩原 隆二
鹿児島市立松原小学校	学校医	萩原 隆二
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会	世話人	萩原 隆二
龍桜高等学校	校 医	山下 正策
龍桜高等学校	産業医	山下 正策
龍桜高等学校専攻科	非常勤講師	山下 正策
始良市立加治木中学校	学校医	山下 正策
加治木看護専門学校	校 医	山下 正策
加治木看護専門学校	産業医	山下 正策
医療法人 大徳会 桜ヶ丘病院とその関連施設	産業医	有馬 卓志
株式会社 アクシーズ	産業医	有馬 卓志
日本温泉気候物理医学会	評議員	日吉 俊紀
龍桜高等学校専攻科	非常勤講師	野村 真一
鹿児島第一医療リハビリ専門学校	非常勤講師	石井 祐司
鹿児島医療福祉専門学校	非常勤講師	石井 祐司
国土交通省 大阪航空局 鹿児島空港事務所	産業医	石井 祐司
鹿児島県医師会警察協力医会	警察協力医	石井 祐司
始良市立加治木中学校	学校薬剤師	中村 真之
錦江幼稚園	学校薬剤師	中村 真之
鹿児島県病院薬剤師会	理 事	中村 真之
始良地区薬剤師会	理 事	中村 真之
始良地区学校保健会	副会長	中村 真之
始良市学校保健会	副会長	中村 真之
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	中村 真之
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	小湊 裕一

外部役員・嘱託・講師（2018 年度）

関連機関名	役 職	担当者
鹿児島県理学療法士会	編集部長	大迫 尚仁
鹿児島大学医学部 保健学科 理学療法学専攻	非常勤講師	椎原 史佳
鹿児島県臨床工学技士会 災害対策委員会	委 員	小崎 健一郎
鹿児島県言語聴覚士会	会 長	原口 友子
日本言語聴覚士協会	代議員	原口 友子
鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会	副会長	原口 友子
鹿児島県災害リハビリテーション推進協議会（KJRAT）	世話人	原口 友子
鹿児島リハビリテーション医学研究会	世話人	原口 友子
鹿児島高次脳機能研究会	世話人	原口 友子
鹿児島摂食嚥下リハビリテーション研究会	世話人	原口 友子
慢性期リハビリテーション協会 病後リハ委員会	委 員	原口 友子
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	原口 友子
鹿児島県リハビリテーション看護研究会	委 員	新本 紀子
鹿児島県透析看護研究会	世話人	新本 紀子
看護協会始良伊佐地区医療安全ネットワーク	委 員	池田 かおり
看護協会鹿児島地区医療安全ネットワーク情報交換会	委 員	萩元 由美
始良市防火協会	会 長	飯伏 真一
災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード	講 師	飯伏 真一
松原なぎさ校区コミュニティ協議会 まちづくり・環境部会	代議員	飯伏 真一
松原なぎさ校区コミュニティ協議会 健康福祉部会	代議員	鈴木 淑子
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会 連携パスMSW小委員	委 員	尾ノ上 正実
日本年金機構 鹿児島北年金事務所 年金委員	年金委員	坂元 真一
全国健康保険協会 鹿児島支部	健康保険委員	西田 寿子
全国健康保険協会 鹿児島支部	健康保険委員	竹元 鳴美
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会 看護連携小委員会	委 員	毛井 美里
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会 看護連携小委員会	委 員	阿久根 圭子
鹿児島県整形外科地域連携研究会	委 員	南 加奈
鹿児島市介護支援専門員協議会	委 員	大迫 尚一

◇◇◇ 所属学会・団体 ◇◇◇

日本医師会
日本透析医会
日本透析医学会
日本リハビリテーション医学会
全日本病院協会
日本医療法人協会
日本慢性期医療協会
地域包括ケア病棟協会
日本長期急性期病床研究会
日本医療機能評価機構
回復期リハビリテーション病棟協会
日本リハビリテーション病院・施設協会
日本自立支援介護学会
九州人工透析研究会
鹿児島県慢性期医療協会
鹿児島県消化器がん検診推進機構
鹿児島県リハビリテーション施設協議会
鹿児島県人工透析研究会
鹿児島県リハビリテーション看護研究会（両地区分）
災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード
日本腎臓リハビリテーション学会
透析バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会

2018 年度 玉昌会トピックス

【新入職医師の紹介】

2018 年度は 3 名の医師が玉昌会グループへ入職されました。

泌尿器科 内田 洋介 医師

内 科 川畑 英樹 医師

整形外科 川路 幸仁 医師

【鰺坂クリニック 玉昌会傘下へ】

2018 年 4 月 1 日より、巡回型健康診断事業にて 25 年間の運営実績がある鰺坂クリニックを傘下に収め、医療法人玉昌会 鰺坂クリニックとして巡回型健康診断事業所を開設しました。

【3 年連続 環境活動レポート大賞受賞】

当法人の環境活動レポートが「環境活動レポート大賞・九州」で九州環境カウンセラー協会特別賞を受賞しました。環境活動レポート大賞受賞としては 3 年連続となります。



【クリーンキャンペーン in 重富海岸 参加】

『コスモ アースコンシャス アクト クリーンキャンペーン in 重富海岸』に、ボランティア清掃で参加しました。

【霧島市主催「しあわせ物産館」に参加】

「しあわせ物産館」にて、災害福祉広域支援ネットワークサンダーバードのブース展示をしました。

【健康経営宣言】

玉昌会グループでは、ヘルスケアサービス『CARADA』を全職員に配布しました。ITを活用した健康イベントの実施や健康情報の配信により、従業員の健康維持・向上を推進しています。

【日本縦断ウォーキングカップ開催】

CARADAアプリを利用し、日本縦断ウォーキングカップを開催。253名の玉昌会グループ職員が参加してくださいました。

【健康経営優良法人 2019 認定】

経済産業省主催「健康経営優良法人 2019 ホワイト 500」大規模法人部門に認定されました。



【高田病院 新施設基準】

平成 30 年 4 月 1 日 新規届出および更新届出

- ・回復期リハビリテーション病棟入院料 1（30 床）【基準維持】
- ・地域包括ケア入院医療管理料 1（20 床）【基準維持】

トピックス

- ・療養病棟入院基本料 1（129 床）【基準維持】
- ・療養病棟夜間看護加算
- ・医療安全対策地域連携加算 2
- ・入退院支援加算 1
- ・感染防止対策加算 2
- ・データ提出加算 2 口（医療法上の許可病床数が 200 床未満）
- ・腎代替療法実績加算
- ・人工腎臓／導入期加算 2
- ・初診料の注 1 2 に揚げる機能強化加算

【高田病院 病院機能評価】

【主たる機能】慢性期病院 【副機能】リハビリテーション病院
職員一丸となって取り組み、無事 3 度目の更新が達成できました。



【高田病院 鹿児島大学医学部医学科生 実習受入】

2018 年 11 月 1 日、11 月 8 日に鹿児島大学医学部医学科 2 年生、計 14 名の実習受入を行いました。
実習は医師がさまざまな職種との関わりを通してチーム医療を学ぶことを目的とする実習内容です。今年で 3 年目の受け入れとなりました。

【高田病院 三笠宮瑶子女王殿下 コミューンご視察】

2019 年 2 月 2 日、三笠宮瑶子女王殿下が、当院で導入した卓上型対話支援システム『comuoon（コムューン）』の効果や導入実態などをご視察されました。



【高田病院 新病院起工式】

2019 年 2 月 27 日、キラメキテラス建設予定地（旧交通局跡地：鹿児島市高麗町 43 - 11）にて、（仮称）高田病院新築工事起工式を執り行いました。



【加治木温泉病院 新施設基準】

平成 30 年 4 月 1 日 新規届出および更新届出

- ・回復期リハビリテーション病棟入院料 2→1（54 床）（H30. 8～）
- ・介護医療院（57 床）（H30. 12～）
- ・医療安全対策地域連携加算 2
- ・腎代替療法実績加算
- ・導入期加算 2
- ・透析液水質確保加算

- ・慢性維持透析濾過加算
- ・入退院支援加算
- ・ニコチン依存症管理料
- ・救急告示病院指定（H30.5～）
- ・医師事務作業補助体制加算（75 対 1）（H31.2～）

【加治木温泉病院 標榜変更・追加】

神経内科→脳神経内科へ変更（H30.7～）

整形外科を追加し 14 診療科へ（H30.7～）

【加治木温泉病院 5 月より救急告示に認定】

加治木温泉病院は、平成 30 年 5 月より「救急告示病院」となりました。

【加治木温泉病院 ふれあい看護体験 10 名受け入れ】

中学生 7 名、高校生 3 名

体験を通し、看護師の仕事がやりがいのある仕事であることを実感することができたと意見が聞かれました。

【加治木温泉病院 おはな別館への訪問診療開始】

10 月より伊藤欣司先生による訪問診療が開始しました。病院の診察室と違い、穏やかな雰囲気の中で診療が行われています。

【加治木温泉病院 小児リハビリ開始】

6 月より小児 ST を開始し、10 月には小児科医（非常勤）による診察、小児 OT、PT を開始しました。公認心理師も小児の検査・治療を開始しました。

【加治木温泉病院 介護医療院（57 床）開院】

2010 年 2 月に開設した介護療養型医療施設 57 床を 2018 年 11 月に閉設し、12 月 1 日より介護医療院 57 床（鹿児島県最大）を開院いたしました。

【加治木温泉病院 普通救命受講者 1 万人目誕生】

12 月 4 日に加治木温泉病院で行われた普通救命講習Ⅰにて 1 万人目の受講者が誕生しました。今後とも 1 人でも多くの市民の命を守るために、応急手当普及啓発に努めたいと思います。

【加治木温泉病院 始良市消火技術競技会にて好成績】

「第 27 回消火技術競技会」に参加し素晴らしい成績を収めました。

屋内消火栓の部 チーム A：優勝 チーム B：3 位



トピックス

【加治木温泉病院 第 52 回加治木駅伝競走大会 参加】

加治木温泉病院から 4 チームが参加し、参加スタッフが 5 区にて
区間賞を受賞しました。

【加治木温泉病院 手術数でわかるいい病院 2019 掲載】

加治木温泉病院が腹膜透析部門で掲載されました



2018 年度 学会発表

第 26 回日本慢性期医療学会

開催日：2018 年 10 月 11～12 日 会場：城山ホテル鹿児島

演題名	所属	演 者
長期臥床患者に対するリハビリテーション ～離床を中心としたアプローチ～	高田病院	理学療法士 物袋
回復期リハビリテーション病棟に入院した患者の早期FIMを 活用し、退院に向けたADL 向上の取り組みについて	高田病院	看護師 松元
ハッカ油による手指消臭の効果	高田病院	看護師 大迫
胃瘻患者の嘔吐予防に対する取り組み	高田病院	看護師 上堀内
透析患者さまの教育入院に対する支援 ～社会復帰を促すためのアプローチ～	高田病院	社会福祉士 池田
経管栄養から経口摂取へ	高田病院	介護福祉士 横山
とろみの統一に向けて ～当院での取り組み～	高田病院	言語聴覚士 福留
職種間連携に際し、喀痰吸引における実態と困りごと、 今後の展望の調査	高田病院	作業療法士 平嶋
透析室内の抜針事故防止に向けた取り組み	高田病院	看護師 木下
KYT（危険予知トレーニング）を用いた医療安全教育 ～医療安全に対する意識の変化～	高田病院	看護師 藤沢
日曜日業務のストレス軽減	高田病院	介護福祉士 有村
外来における業務改善の取り組み 中材業務を見直して	高田病院	看護師 吉富
届出書類データの管理システムについて	高田病院	事務 鬼塚
アプローチ方法による患者様の意欲変化について	高田病院	理学療法士 冷水
残存歯の多い経腸栄養患者に着目した効果的な口腔ケアの 取り組み	加治木温泉病院	看護師 藤田
発汗の多い患者の皮膚トラブルの軽減減少を試みて	加治木温泉病院	介護福祉士 吉敷
継続した服薬管理に向けて ～アンケートから見えた課題～	加治木温泉病院	看護師 久保田
看取り看護（ターミナルケア）について考える	加治木温泉病院	介護福祉士 長島
当院介護療養病棟における看取りの現状と課題	加治木温泉病院	看護師 堀田
当院の摂食嚥下障害患者における経口摂取への移行に 関与する要因の検討	加治木温泉病院	言語聴覚士 馬場
院内における医療クラークの取り組み ～医師事務作業補助体制加算を算定して～	加治木温泉病院	事務 竹之内
医療機関のBCPからBCM策定への必要性の取り組み	加治木温泉病院	施設管理部 飯伏

学会発表

脳血管障害患者における退院支援・指導に着目した回復期クリニカルパス改良の試み	加治木温泉病院	看護師	鍛冶
音楽レクリエーションによる不穏・不眠の改善	加治木温泉病院	介護福祉士	村山
業務の見直しを行う事で見えてきたこと	加治木温泉病院	介護福祉士	村田
患者離床に対するスタッフの意識調査	加治木温泉病院	看護師	宗方
認知症・認知機能低下のある利用者様へのアプローチ～連絡帳を活用して～	加治木温泉病院	介護福祉士	山下
地域包括ケア病棟における意欲向上を目指す集団レクリエーション介入の試み	加治木温泉病院	看護師	中野町
認知症予防運動「コグニサイズ」～認知機能向上、低下予防と意欲向上を目指して～	在宅サービス事業部	介護福祉士	羽生
患者様の必要水分量摂取への取り組み	加治木温泉病院	ケアワーカー	梅田
高齢者の睡眠障害に対するアロマセラピーの導入を試みて	加治木温泉病院	看護師	下忠

第 60 回全日本病院学会

開催日：2018 年 10 月 5～7 日 会場：ウェスタ川越

演題名	所属	演 者
透析室でのフットケアに関するスタッフ意識調査からみえた現状と課題	加治木温泉病院	看護師 藤井

第 6 回慢性期リハビリテーション学会

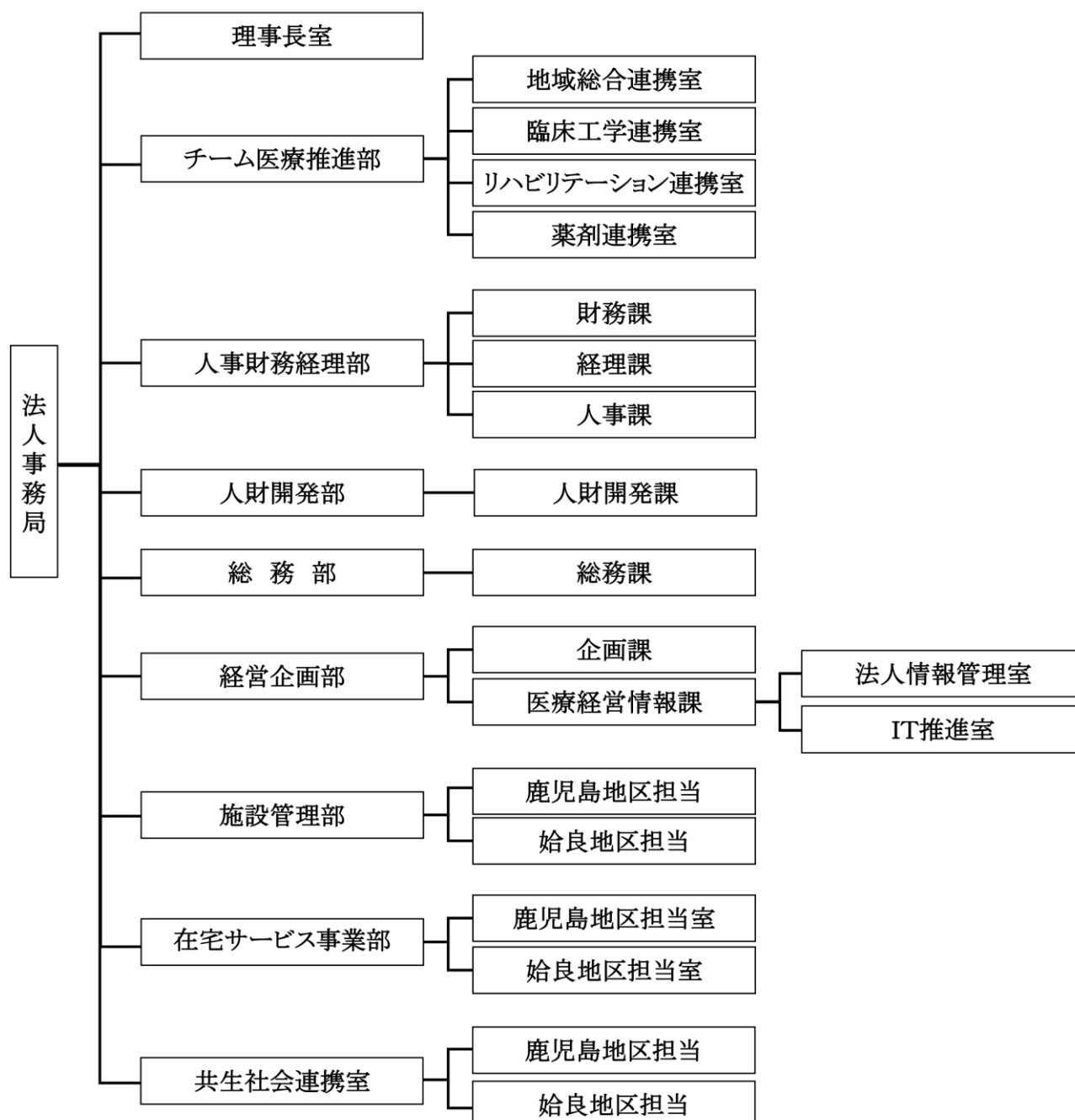
開催日：2019 年 2 月 15～16 日 会場：グランドニッコー東京台場

演題名	所属	演 者
地方中核病院における高齢脳卒中患者の FIM 得点を用いた自宅復帰の可能性の検討	加治木温泉病院	作業療法士 小村
地域包括ケア病棟における多職種協働支援の試み	加治木温泉病院	理学療法士 遠矢

医療法人 玉昌会

法人事務局

医療法人 玉昌会 法人事務局 組織図 2019 年 4 月 1 日現在



職 員 数

2019 年 3 月 31 日現在

職 種		法人事務局	高田病院	加治木温泉 病院	在宅サービス 事業部	鯉坂	計
常勤職員	医 師	0	9	19	0	2	30
	歯科医師	0	0	1	0	0	1
	医療技術職	薬剤師	0	5	5	0	10
		診療放射線技師	0	1	7	0	10
		臨床検査技師	0	2	4	0	6
		理学療法士	0	32	34	3	69
		作業療法士	0	21	30	1	52
		言語聴覚士	0	9	17	0	26
		公認心理師	0	1	4	0	5
		義肢装具士	0	0	2	0	2
		鍼灸マッサージ師	0	0	0	0	0
		管理栄養士(含む栄養士)	0	3	5	0	8
		臨床工学技士	0	4	8	0	12
		医療ソーシャルワーカー	0	5	5	1	11
		歯科衛生士	0	0	4	0	4
		その他(補助者等)	0	4	7	0	11
		小 計	0	87	132	5	226
	看護部門	看護師	0	80	120	28	230
		准看護師	0	12	24	11	47
		介護支援専門員	0	0	0	15	15
		介護福祉士	0	31	53	57	141
		ケアワーカー	0	16	23	1	40
		小 計	0	139	220	112	473
	その他	保育士	0	2	2	0	4
		部次課長	5	1	0	0	7
		その他(事務員等)	15	17	32	3	67
		小 計	20	20	34	3	78
	合 計		20	255	406	120	808
非常勤職員	薬剤師	0	0	0	0	0	0
	臨床検査技師	0	1	0	0	0	1
	理学療法士	0	0	1	0	0	1
	作業療法士	0	4	1	0	0	5
	公認心理師	0	1	0	0	0	1
	鍼灸マッサージ師	0	1	0	0	0	1
	管理栄養士(栄養士含む)	0	0	0	0	0	0
	看護師	0	4	16	2	3	25
	准看護師	0	3	4	4	5	16
	介護福祉士	0	3	2	6	0	11
	ケアワーカー	0	6	5	19	0	30
	保育士	0	7	3	0	0	10
	医療ソーシャルワーカー	0	0	1	0	0	1
	その他	3	4	9	0	6	22
	合 計	3	34	42	31	14	124
総 合 計		23	289	448	151	21	932

2018 年度学校訪問及び就職説明会

月 日	訪問先	対象者
4 月 11 日	医療法人協会立看護専門学校	看護師・奨学生
4 月 18 日	神村学園高等部	看護師
5 月 31 日	龍桜高等学校・加治木看護専門学校	看護師・奨学生
6 月 14 日	鳳凰高等学校	看護師・奨学生
6 月 14 日	神村学園	看護師・奨学生
8 月 8 日	福祉・医療保健就職ガイダンス (サンロイヤルホテル)	看護師・介護 ・MSW
8 月 23 日	鹿児島大学	OT
10 月 10 日	神村学園専修学校	PT・OT
11 月 10 日	第一医療リハビリ専門学校	PT・OT・ST
3 月 8 日	鹿児島医療センター附属 鹿児島看護専門学校	看護師

PT:理学療法士 OT:作業療法士 ST:言語聴覚士 MSW:社会福祉士

第 29 回 玉昌会グループ 2017 年度入職者・2018 年度新入職者のつどい

日 時 2018 年 4 月 7 日（土） 14:00～

会 場 加音ホール

参 加 人 員 207 名（医療法人玉昌会：195 名、株式会社 J O Y：10 名、社会福祉法人幸友会：2 名）

対 象 職 員 管理者および 2017 年 4 月 2 日～2018 年 4 月 1 日の入職者

特 別 講 演 「2025 年のあなたへ ～これからの時代に求められるチーム医療と働き方改革～」

講 師 社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院

包括診療部 包括診療科 部長 園田 幸生 先生

誓いの言葉 高田病院 西村 奈々

第 9 回 玉昌会グループ法人学会 2018

日 時 2018 年 5 月 27 日（日） 10:00～15:00

会 場 ホテル ウェルビューかごしま

研究発表演題

演 題	演 者
K Y T（危険予知トレーニング）を用いた医療安全教育 ～医療安全に対する意識の変化～	高田病院 藤沢
認知症予防運動「コグニサイズ」 ～認知機能向上、低下予防と意欲向上を目指して～	在宅サービス事業部 羽生
届出書類データの管理システムについて	高田病院 鬼塚
通所リハビリ・訪問リハビリ利用者に対する装具定期メンテナンスの実施	加治木温泉病院 志水
透析患者さまの教育入院に対する支援 ～社会復帰を促すためのアプローチ～	高田病院 池田
残存歯の多い経腸栄養患者に着目した効果的な口腔ケアへの取り組み	加治木温泉病院 久保
6 年ぶりの在宅復帰利用者への下肢筋力訓練を通しての取り組み ～より自分らしく生活するために～	在宅サービス事業部 中村
院内における医療クランクの取り組み ～医師事務作業補助体制加算を算定して～	加治木温泉病院 竹之内

2017 年度最優秀職員表彰

■理事長賞：飯伏 真一

■特 別 賞：株式会社 J O Y W e l l B e C l u b

■特 別 賞：中村 真之

2018 年度職員研修

玉昌会では、職員のスキルアップを目的に例年、法人主催の研修を開催しています。
 いずれの研修会も高田昌実理事長の講話をはじめ、外部講師によるグループワークを交えた研修など、職種を超えた充実した内容となっています。
 今年度も計 10 回に渡り、職員研修会を開催しました。

◆2018 年度新入職者オリエンテーション

開催日：2018 年 4 月 2 日～4 月 9 日
 会場：加治木温泉病院 1 階食堂談話室、そうしん本店ビル、ウェルビークラブ貸ホール
 対象者：4 月 1 日入職者
 主な内容：「法人理念・行動指針」「医療安全」「感染対策」「倫理教育」「アンガーマネジメント」

◆新役職者研修会

開催日：2018 年 4 月 12 日
 会場：法人事務局 4 階会議室
 対象者：今年度、新しく役職者となった職員
 主な内容：「管理職の役割」「人事考課制度についての概要」

◆新役職者フォローアップ研修会

開催日：2018 年 8 月 9 日
 会場：そうしん本店ビル 6 階 会議室
 対象者：新しく役職者となって 2 年未満の職員
 主な内容：「管理業務とは～部署業務とのすみわけ」
 「就業規則と労務管理」

◆管理者研修会

開催日：2018 年 11 月 15 日
 会場：そうしん本店ビル 6 階
 対象者：各職種トップ役職者
 主な内容：スキルアップシートの改定説明、新スキルシート検討・作成

◆新人フォローアップ研修会

開催日：①2018 年 7 月 12 日（3 か月後） ②2018 年 10 月 18 日（6 か月後）
 会場：①そうしん本店ビル 6 階 ②加治木温泉病院 1 階食堂談話室
 対象者：2018 年度の新卒入職者
 主な内容：「医療安全対策」「感染対策」「コミュニケーション」

◆新人指導者フォローアップ研修会

開催日：2018 年 9 月 12 日
 会場：そうしん本店ビル 6 階
 対象者：各部署の新人指導者で今年度指導者研修受講者
 主な内容：「コーチング」「リフレーミング」「アンガーマネジメント」

◆階層別宿泊研修会

開催日：2018 年 9 月 28 日～29 日
 会場：ホテルウェルビューかごしま
 対象者：入職 3 年経過の中堅職員
 主な内容：「中堅職員としての役割」「コミュニケーション能力 相・連・報」

◆2018 年度新人指導者研修会

開催日：2019 年 3 月 7 日
 会場：法人事務局 4 階会議室
 対象者：2019 年度の新入指導者
 主な内容：「新人指導者としての在り方」「コーチング研修」

◆2019 年度新入職者オリエンテーション

開催日：2019 年 3 月 18 日～28 日（8 日間）
 会場：加治木温泉病院 1 階食堂談話室・そうしん本店ビル 6 階・ウェルビークラブ貸ホール
 対象者：2019 年度の新卒入職者
 主な内容：「社会人としての心得」「人事考課制度」「施設見学」「コミュニケーション研修」等

環境経営マネジメントへの取り組み

世界はパリ協定やSDGsの採択によって環境をめぐる情勢は大きく変わってきました。玉昌会は、環境省のガイドラインによる、エコアクション21「EA21」をツールとして環境経営マネジメント「EMS」に取組み、全世界の目標「SDGs」の達成にむけて、EA21環境経営方針に取組みを宣言致しました。また、毎年発行する環境経営レポートは3年連続で環境レポート大賞の部門賞を頂き、昨年度は「九州環境カウンセラー協会特別賞」を受賞致しました。



※「環境経営レポート大賞・九州」は、九州・沖縄地域におけるE S 21 認証・登録事業者が公表した「環境経営レポート」から優れたもの、特色あるものを選考し、表彰するものです。

○玉昌会の環境理念

「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです」の基本理念と行動指針を柱に地域社会に医療サービスと福祉サービスを提供させて頂いている私たちは、今後も地域の皆様と共に、より良い社会を築き上げていくために、企業活動においても地球環境を経営上の優先課題として取り組みます。

○環境経営方針

環境への負荷削減を始めとする環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組み、環境経営を通してSDGsの達成に貢献するため、以下に環境経営方針を定めます。

1. 事業活動に関わる環境関連法・条例その他のコンプライアンスを徹底します。
2. 環境への負荷の削減や環境改善を図るために下記事項に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化対策のため省エネルギーに取り組み二酸化炭素の削減に努めます。
 - (2) 資源の有効的活用を図り、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進します。
 - (3) 廃棄物の削減及び適正管理に努めます。
 - (4) 水使用量の削減に努めます。
 - (5) 化学物質の使用量の削減、安全な管理を行います。
 - (6) 医療、福祉サービスを効率的に提供し資源を有効的に活用します。
 - (7) 地域清掃活動を継続します。

3. この環境経営方針を推進するために、教育・研修を継続し全職員に周知します。

- ・ 二酸化炭素の削減に努めます。



- ・ リサイクル 3Rの推進、廃棄物の削減、化学物質の使用量削減。



- ・ 水使用量の削減



- ・ 福祉サービスを効率的に提供し資源を有効活用します。



- ・ 地域ボランティア清掃。



- ・ 教育と研修



○地域貢献活動



◆子育て支援の取り組み

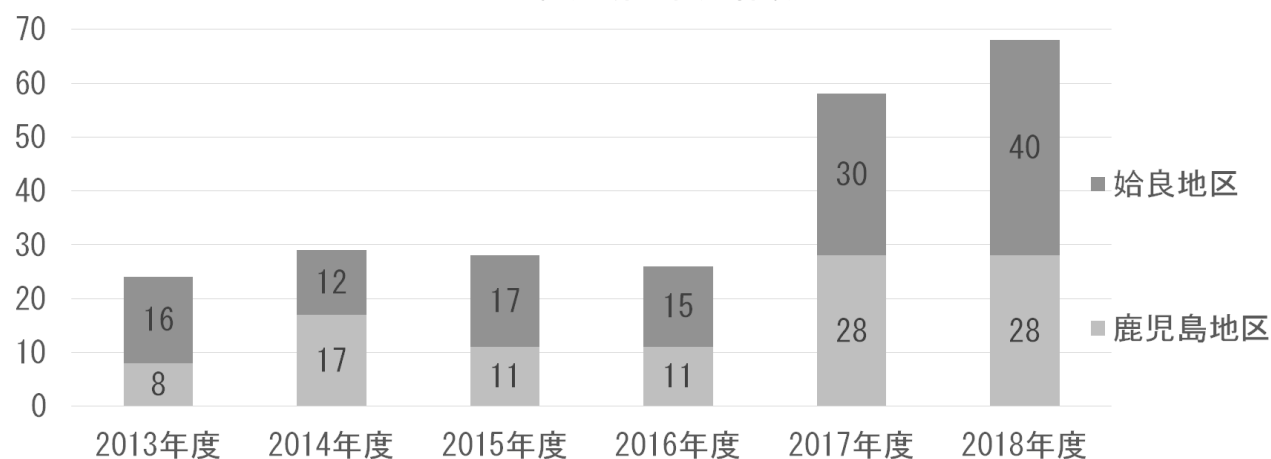
医療法人玉昌会は、結婚・出産後も安心して勤務できる環境整備に取り組んでいます。主な内容は以下の通りです。

- 24 時間 365 日対応可能な院内保育所の設置
- 育児・介護短時間勤務制度の導入
- 育児休業・介護休業
- 子の看護休暇、介護休暇
- 未就学児への保育手当の支給
(同法人託児所以外の利用の場合も支給)
- 常勤の公認心理師によるメンタルヘルスケア
- 人財開発課による職員研修・復職支援
- 育児休業者等に対する職場復帰前の研修・情報提供
- 託児所を利用される方への駐車場の提供

このような取り組みが認められ、2009 年に鹿児島県に「かごしま子育て応援企業」として登録され、現在も登録更新中。育児休業については、今年度も対象者の方全員が取得。院内託児所「チェリッシュ・キッズルーム」では、子供たちの笑い声が絶えません。



託児所 利用者数



◆スマイル・カード

2009 年 6 月より「いきいき働く職場風土への取り組み」として「スマイル・カード」が導入され、今年で 6 年目を迎えます。これは、職員間で感謝の気持ちや素敵だなと思ったことをカードに記入し、所定の BOX へ投函。毎月 1 日に回収、集計後、メッセージを相手の方へお届けするものです。感謝の気持ちを形にして伝えることで、職員間のコミュニケーションを深め、良いチームワークを築くことを目的にしています。

スマイル・カード投函件数推移

年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
鹿児島地区	0	4	12
始良地区	16	41	13
計	16	45	25